SMILE ★★★★★ MEISTER

笑顔のマイスター

第31回

いつも元気に笑顔で働くヒミツを教えてもらうべく、笑顔の「匠」の素顔に迫るコーナーです♪
ここでは、日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。

今号のマイスターは…

透析室（腎センター）看護師　須藤（すどう）　志穂（しほ）さん

マイスターにQ&A

Q. この職種を目指したきっかけは？
A. 人と関わる仕事がしたい、医療関係で働きたいという漠然とした思いがあり、病院の職場体験に行った際に、看護師をすすめられたことがきっかけとなりました。

Q. 仕事をする上で心がけていることは？
A. 患者さんの言葉や表情から少しの変化に気づくことができるように心がけています。スタッフに対しては、お互い気持ちよく仕事ができるように、感謝の気持ちを持って関わっています。

Q. 当院を選んだ理由は？
A. 実習に来た時に、当院のような高度急性期病院で看護師として成長したいと思ったからです。

Q. 今後の目標・意気込みをどうぞ。
A. 患者さんの生き方や家族・社会背景を踏まえてその人らしく生活できるよう、患者さんの思いに寄り添った看護が提供できるよう心がけていきたいです。

Q. 趣味または特技（今はまっていること）はなんですか？
A. ・好きな音楽を聴くこと
・おうち美容

Q. 気分転換したい時はどうしていますか？
A. ・キャンプをして、できるだけ自然に触れるようにしています。
・愛猫の写真や動画を撮って癒されています。

透析室（腎センター）とは

透析室は、腎臓の機能を人工的に代替する人工透析療法を行うところです。当院にはベッドが20床あり、毎月約570人が受診しています。主に慢性腎不全で血液透析を受ける患者さんが対象です。年齢は20～90歳台と幅広く、1人ひとりに合わせた透析に対応しています。また、透析導入前の生活指導や、自宅や職場で患者さん自身が行える腹膜透析の患者さんにも対応しています。

医師を中心に、看護師と臨床工学技士が協働し透析治療を行っています。また、手術後や全身状態が不安定な患者さんに対しては、病棟へ出張透析（ベッドサイド透析）も行っています。

透析室（腎センター）看護師の役割

腎代替療法（血液透析・腹膜透析・腎移植）はその治療を受けなければ生きていけないという、命に直結した治療です。透析は生涯にわたり継続しなければならないため、主体的に自己の生活をコントロールできるための力（セルフケア能力）を高めて、維持・継続ができるための支援（自立支援）が重要な役割です。透析が生活の一部となるよう、患者さんやそのご家族に対し、在宅療養に向けた社会資源の活用や家庭での過ごし方について説明を行っています。臨床工学技士と連携しながら専門的知識と技術を用いて、患者さんの透析治療に関する理解度に合わせてお話をするよう心がけています。

須藤さんのある日のスケジュール

8:30	透析機器準備、多職種カンファレンス
9:00	外来患者受け入れ（穿刺（せんし）、透析開始操作、透析中の看護など）
9:30	入院患者受け入れ（穿刺、透析開始操作、透析中の看護など）
11:00	昼休憩
12:00	ウォーキングカンファレンス
13:00	透析患者対応（生活指導、返血操作、抜針、止血など）
15:00	腹膜透析外来の診察介助
16:00	自立支援（病棟へ訪問し、透析導入患者への生活指導）
17:00	カンファレンス（情報共有）
17:30	日勤業務終了

透析室の皆さんと（下段左から2番目が須藤さん）

Group photo